

号外

③

あかねの集い

令和 2 年 10 月 30 日

発 行 者

(社福) あひるの会 あかね園

〒275-0024

千葉県習志野市茜浜 3-4-5

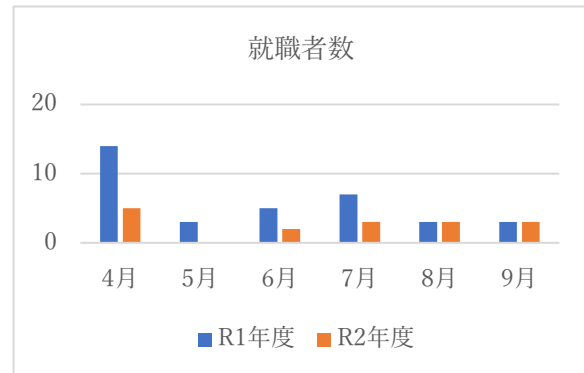
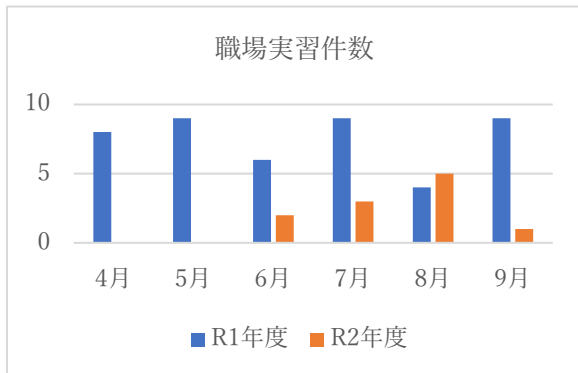
TEL 047-452-2715

「新しい生活様式」の定着に向けて

第2四半期(7~9月)報告より

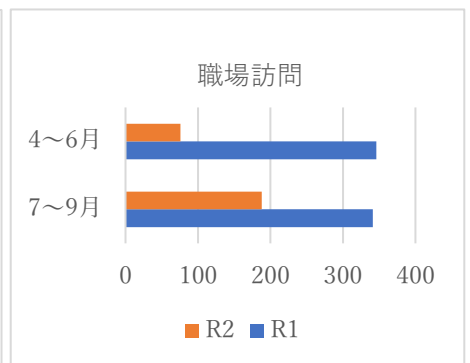
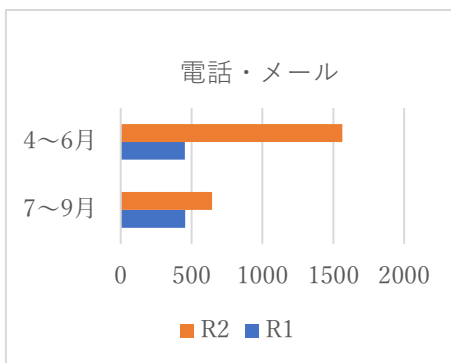
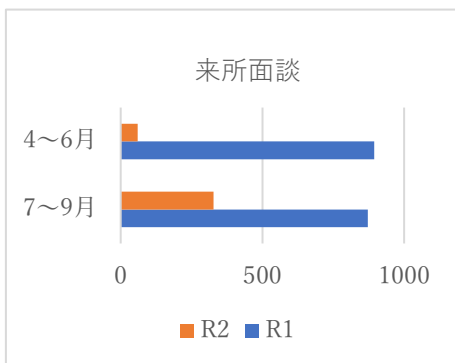
5月25日に緊急事態宣言が解除されて約5ヵ月。世の中が少しずつ動き始めましたが、働いている皆さんは、この間様々なことを経験したことと思います。変則シフトへの対応、時差出勤、テレワーク、自宅待機……。業種や職種の違いによる変化の大小はあっても、自分だけでなく会社や家族にも訪れた影響を少なからず感じたのではないのでしょうか。前号に続き、今回は支援センターの第2四半期を振り返ってみたいと思います。

①職場実習件数／就職者数の推移



第1四半期はどちらも“激減”でしたが、第2四半期はその減り幅が少し小さくなり、就職者数は横ばいの月もありました。ただ、依然実習件数は少ないままです。また、ハローワークの求人数も年度当初に比べると回復してきましたが、「在宅勤務」の募集が目についたり実習の日数が制限されたりと、昨年までと異なる状況が散見されています。実習受入件数の伸び悩みからは、企業が新規の採用にとっても慎重になっている姿勢が窺えます。

②センターの支援内容の比較



第2四半期は「来所面談」と「職場訪問」が増えました。前年度に対する件数は約半分といった所ですが、徐々に対面でのやり取りが再開した3ヵ月でした。会社や家庭により見解が様々なので、当面は対面を控えてほしいと要望をいただくことも当然あります。距離の開く中で新しい関係作りを試み始めているところです。

③就労者親の会：定例会への参加

9月に分散開催された就労者親の会：定例会において、支援センターより第1四半期の報告を主に、コロナ禍における就労支援・定着支援について情報発信させていただきました。就労されている皆さんとのやり取りは今年度大きく変わり、「会いに行けない」「あかね園に来てもらえない」もどかしさを感じつつ、それでも動き出している日常に何とか出来ることを考える、試行錯誤の半年でした。施設長より、対面を制限せざるを得ないこの状況を機に、企業との距離感を改めて考える契機にしたいという話があり、間接的に企業を支える（センターが常に職場訪問して対応に入るのではなく、企業に助言等を行うことで企業が主体となって本人の長期安定就労を考える姿勢を育てる）ことが大切だと、まとめを行ないました。



④在職者勉強会（ふれあい会 mini）の開催

今年度（実際には前年度末から）開催ができていなかった「ふれあい会」ですが、「在職者勉強会：ふれあい会 mini」と銘打ち小規模に複数回開催しました。

9/25（金） 18：30～20：00
9/26（土） 9：30～11：00、12：00～13：30、14：30～16：00
10/ 4（日） 9：30～11：00、12：00～13：30、14：30～16：00



全7枠に計50名以上のメンバーが参加し、前半はコロナウイルス感染防止対策に関する勉強会、後半は景品を賭けた3種のゲームを行ないました。勉強会では、基礎的な情報発信から具体的な職場内、あるいは通勤中の場様々な場面に応用できる対策を改めて確認しました。後半は雰囲気を一転、賑やかなBGMに乗ってテーブルゴルフ、ソフトグライダーを使った的通り、ボールを蹴る的当てに挑戦し、合計得点によって順番に好きな景品を全員選び終了としました。大きな声はNGだったり、ソーシャルディスタンスを取ったりしながらの慎重な進行でしたが、久しぶりに笑顔や笑い声に包まれ、職員も元気をいただきました！

⑤地域意見交換会の開催

長きにわたり、年4回シリーズで続けてきた地域意見交換会も、9月ようやく開催の運びとなりました。ここ数年は、各回平均70名のご参加をいただいていたのですが、こちら今年度は立場毎のご案内としました。

9/14（月） プラッツ習志野 【学校編】 （対面） 特別支援学校の先生 7名
9/28（月） あかね園 【支援機関編】 （対面+ZOOM開催） 各支援機関の職員 21名



新会場、大久保駅前のプラッツ習志野にて（左）、初のズーム開催（中）、WEB参加+来所形態で（右）

新しいことへの挑戦はあかね園も同じで、規模や内容によって開催方法を検討し、安全にご参加いただけるよう心掛けました。今後スタンダードになるかもしれず、反省を次に活かします。